

PC 実技第2問

／こんにちは。
漁村や漁業について話す。
都市漁村交流を
聞いたことある？
都会人と漁村に住む人が
交流すること。
経験がないと思うかも。
例えば、
港で取れたての魚を食べる。
魚の競りを見学したり、
漁業体験、
漁船クルーズもある。
海水浴で、漁師さんの民宿に
泊まる。
これらを交流と言う。
観光や飲食など、
形態はさまざま。
都会の人も漁村の人も
両方嬉しい。
物を買ってもらい、
仕事や生活にもつながる。
漁村の人は、
なぜ交流するのか。
交流による変化は何か。
それを数字で見えていく。
まず、漁業の現状から。
漁港数は3000ほど。
日本の海岸線の総延長は、
世界で6位。
長い海岸線に

漁村は6000。
5～6キロに1つの
漁村がある。
漁村2つに漁港が1つ。
星の数ほどある。
また、日本は縦に長い。
多様な自然環境で、
多くの種類の魚が取れる。
漁法や食べ方もいろいろ。
素晴らしい文化といえる。
次に、
漁業の生産量について。
28年統計で436万トン。
1984年は、
1300万トンでピーク。
今では3分の1程度に
減っている。
次は、生産額。
ピークは1982年で3兆円。
現在はこれも半額に。